

令和2年度 竹原市子ども・子育て会議 議事録

令和2年10月6日（火）
18時30分～19時30分
竹原市民館2階第2・3会議室

【会議次第】

- | |
|-------------------------------------|
| 1 開 会 |
| 2 協議事項 |
| （1）竹原市子ども・子育て支援事業計画確保方策の進捗状況について |
| （2）竹原市立たけのこども園の概要について |
| （3）竹原市立大井保育所の廃止について |
| （4）教育・保育事業の見込量の見直しについて（すくすくプラン2020） |
| （5）その他 |
| 3 閉 会 |

18:30 開会（欠席1名）

協議事項1 竹原市子ども・子育て支援事業計画確保方策の進捗状況について

事務局 資料1「竹原市子ども・子育て支援事業計画確保方策の進捗状況について」を説明する。

会 長 ただ今、説明がありました事項について、何か質問はございませんか。
ないようでしたら、次に協議事項2 竹原市立たけのこども園の概要について事務局から説明をお願いします。

協議事項2 竹原市立たけのこども園の概要について

事務局 資料2「竹原市立たけのこども園の概要について」を説明する。

ただ今、説明がありました事項について、何か質問はございませんか。

会 長 ないようでしたら、次に協議事項3 竹原市立大井保育所の廃止について事務局から説明をお願いします。

協議事項3 竹原市立大井保育所の廃止について

- 事務局 資料3「竹原市立大井保育所の廃止について」を説明する。
- 会長 ただ今、説明がありました事項について、何か質問はございませんか。
ないようでしたら、次に協議事項4教育・保育事業の見込量の見直しについて事務局から説明をお願いします。

協議事項4 教育・保育事業の見込量の見直しについて（すくすくプラン2020）

- 事務局 資料4「教育・保育事業の見込量の見直しについて（すくすくプラン2020）」を説明する。
- A委員 先日、東野保育所に行く機会に恵まれました。先生方に園児が30～40名弱、いると聞きました。2歳児が卒業するまでと言われていたが、（保育所の存続に）希望を持っておられるような話をきいた。今後、いくらこの保育園が選ばれて、たくさん子供が入ってきてもこういう状況になるのでしょうか。
- 事務局 今後この保育所を希望される保護者の状況を勘案する必要もありますが、東野保育所を廃止する判断については、市全域で児童数の減少が進んでいることについて考慮しています。それと、人口減少が進む中で、保育のサービスを担う人を確保していくことが難しくなっています。そういった中で、市として良好な保育サービスを提供し続けるためには効率的に保育士を配置できるよう、一定のスケールメリットが働く規模の施設の設置を進めることが必要であると考えています。
- 東野保育所のような小規模な園を希望する方の選択枝が無くなってしまいますが、市全体の保育サービスを継続していくため、また、新聞報道にもあったとおり市の厳しい財政状況から、健全化を進めていく必要性があるため、健全化に向けた取り組みの中の一環として東野保育所を廃止していきます。
- ただし、現在、入所されている子供さんには最大限の配慮をしながら進めていきたいと思えます。
- B委員 賀茂川こども園は市外からの利用があると聞いたことがありますが、この見込みの中に市外の人が含まれていますか。また、保育量を確保していく方策の中で市外の人利用の上限を設けていますか。
- 事務局 この保育量の見込みの中には市外の人が入っていません。
実際に入られる人数の上限も設定していません。
- B委員 それは園として大丈夫なのでしょうか。
- C委員 現在、東野保育所の人数が多い1つの要因として考えられるのが、今自分たち

の園の在籍82名のうち東広島市から15名、三原市から1名通園している状況です。純全な賀茂川中学校区の子供は、82名在籍しているうちの半分を切るくらいの状況で、見込み策の時点修正はこういったことも関係しているのかなと思います。

上限を設けないという市の判断ですが、賀茂川中学校区の子供が賀茂川中学校区の園を選べないことを市が選ぶのだったら、うちはそれを受け入れるしかない。うちは国の基準に則して施設給付金をいただくので、市の方がストップをかけなければ、運営側としたら早く定員が埋まり運営が楽になるので、市の判断に従いますというほかないです。

B委員 東広島市や三原市からの利用が増えると言う見込みはどうなのでしょう。まあ、分かりようがないかも知れませんが。

C委員 現在、東広島からのご利用の方は、医療福祉関係者が多いようです。あとは市役所の方。今、東広島市は待機児童が発生しないような体裁を整えているが、実際は入りづらい状況なので、地元の園では祖父母の就労状況まで聞かれながら利用しているような状態です。そうであるなら、子供の急な発熱や怪我に対応しやすい就労場所に近い園を利用するというので、今も82名のうち15名が東広島から来ている状況です。

上限を設けるならば、こちらへもそれなりに補償していただきたい。それまで上限があることによって収入が途絶えるので。何人までは竹原市の人を受け入れなさいと言われたため、何人もの東広島市の方を断ってまで、竹原市の方のために空けておくというのでは、運営側としたら何かバーターがないと厳しい。

会 長 今のやりとりですが、上限を設定していないということで竹原市民の方に何か困ったことが生じていないので、上限を設定していないということでよろしいですか。

事務局 園児の受け入れに関しては、園の経営の方に直結する話であり、市外園児に上限を設けると行政による補償が求められてきます。

保育が必要な人については0歳で入園しても、小学入学とともに変わってきます。年によって保育ニーズが異なってくるということもありますので、今のところは上限を設けないということで考えています。

今後、市外を含めて保育ニーズが多くなってきたら、その状況に応じて上限設定について検討していく必要があると考えています。

D委員 賀茂川中学校区で東野保育所の保護者です。

廃止理由は今後見込まれる児童数の減少ということなのですが、東野保育所は現在、子供が増えている状況でこの話が出ているということに驚いています。うちの子供は年中ですが、年長の人数が0人、年中が5人で少ないというのであればまだ分かるかなという面もありますが、年少は11人で増えているのにこの話

ができたということに驚いています。今後、竹原市全体の児童数が減少するというのは今説明を聞きまして、受け入れ廃止になってしまったとしても賀茂川こども園などで受け入れをしていただけるということなのですが、希望者が必ずしも希望するところに行けるとは限らなくなる。そうすると北部は広範囲のため移動が難しいです。朝の5分10分は貴重な時間なので、もっと条件を緩和して受け入れをお願いしたいです。

今後関係者に説明していただけると思うが、地域、保護者に対してもできるだけ不安が生まれないように説明していただきたい。今の子が卒園できるからそこで終わりではなくて、その子の弟、妹が生まれるかもしれない。そういうことも考えていただきたいです。

事務局 転園が必要となってくる子供さんについて、現時点で2歳の方が卒園するまでは存続し、現時点で0歳1歳の方については転園が必要となってきます。

転園について、こども園の運営には人員の基準や施設の広さの基準などがあります。なるべく希望にお応えしたいという思いですが、希望される方の状況によっては、例えば転園が必要な人が同じこども園に（集中して）希望した場合、そのこども園において今入っている子供の状況から、施設基準に引っかかってくる等いろんな状況が想定されます。なるべく希望に応じられるように取り組んでいきたいですが、そのときの希望状況に応じて判断していくようになると考えています。

関係者の方への説明については、お子様の環境が変わる子供もいますので、十分ご理解していただけるように説明していきたいと思います。

事務局 地元にとっては公共施設である保育所というのは地域作りに関わりますので、保護者、地域の人に丁寧に説明していきたいと思います。

大井の方でも地元の方々、保護者に丁寧に説明し理解をいただいています。

財政健全化計画の話で保育所の話が出たときに地元の方が心配されているという話も聞いているので今後も丁寧に対応していきたいと思っています。

協議事項5 その他

事務局 資料5「新型コロナウイルス感染症への対応等について」を説明する。

会長 ただ今、説明がありました事項について、何か質問はございませんか。

またこれまでの議題について言いそびれた質問しそびれたことのないですか。ないようでしたら、ご意見について整理させていただきたい。

3名の委員から質問、ご意見をいただきました。

大きくは2点だったと思います。

まず1つは東野保育所の廃止に関する問題について、実際には存続に希望を持っている方もおられて必ずしも実態としては子供が減っているという肌感覚がないのに、そのような状況で廃止ということで驚いていると、そういった声だったと思います。

市の状況としても子供の減少、保育士不足、市の財政状況などを見たら、仮に東野保育所を廃止したとしても十分保育サービスをまかなえるといった判断から廃止せざるをえないといった状況です。ぜひとも丁寧な説明で理解をいただけるような努力をするということで事務局からご回答をいただきました。

もう1点は賀茂川保育所の件で、市外からの利用に関する議論が多かった。

見込み数の中に市外の方は入っておらず上限も設定されていない。現時点では上限も設定が必要とは判断されていないと理解した。もし竹原市民の方の利用にとって不都合がおこればまた検討されるということで理解しました。

それでは、本日の協議は終了といたします。事務局のほうへお返しいたします。

事務局 どうもありがとうございました。それでは終わりに一言、ご挨拶をさせていただきます。

事務局 今年度から第二期となります子ども・子育て支援事業計画すくすくプラン2020が始まっております。その中で様々な子育て支援策を推進しております。

初年度計画ではありますが、プランの見直しをさせていただきました。

また、新しいこども園の現状や新型コロナウイルスの影響による様々な支援策などについて報告させていただきました。

今後の子育て環境につきましては、少子化に歯止めがかからず、ますます環境が厳しくなってくると見込んでいて、地域や社会全体で子育てを支えていく必要があると思っております。

こうしたことから、第二期のプランにおきまして基本理念を子供・親・地域がともに成長する町、目指す姿を、「つながるつなげる 竹原スマイル。」というふうにしております。その実現に向けて、皆様とともにご意見いただきながら、精一杯取り組んでいきたいと思っております。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局 以上をもちまして、本日の竹原市子ども・子育て会議を閉会いたします。長時間にわたるご審議、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

以上